

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限 (信託約款所定の信託終了事由が生じた場合に償還されることがあります。)
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資をします。
主要運用対象	主として国内外の有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①「株式」に投資します。 ②「グローバル」な視点で投資します。 ③運用は「ファンド・オブ・ファンズ」形式で行います。 ④実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。 ⑤株価が割高と思われるときには、現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがリスクスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。 ⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、投資環境や市況動向等を勘案して決定します(分配を行わないことがあります。)。当ファンドは分配金再投資専用であるため、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。

『ユニオンファンド』

運用報告書(全体版)

第12期(決算日2020年9月30日)

作成対象期間(2019年10月1日～2020年9月30日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび「ユニオンファンド」は、第12期決算を迎えることができました。ここに期中の運用状況等についてご報告申し上げます。

当期は新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大により、リーマンショック後最大級と言われる経済危機が発生し、現在も世界がその克服に取り組んでいるところです。

当ファンドは、2008年のリーマンショックの荒波の中で運用がスタートし、以来、信じてお金を託していただいているお客様と、成長を続ける世界の企業と共に、大きな危機をいくつも乗り越え今日に至っています。

「よりよい社会にしたい」という人間の強い願いと行動によって、今回もこれまで同様に危機を克服し、成長し続けていくものと確信しています。

皆様からお預かりした大切なご資金は、選び抜いたファンドを通じて世界中の選び抜かれた企業に投資しています。今後も皆様の資産形成のお役に立てるよう邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

あなたと大切な方の未来のために

ユニオン投信 Union Asset Management

〒390-0815

長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

本書の記載内容等に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社 業務管理部

電話番号：0263-38-0725

受付時間：午前9時～午後5時

(土日祝日、年末年始を除きます。)

ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
8期 (2016年9月30日)	19,893	0	0.6	77.8	4,151
9期 (2017年10月2日)	24,971	0	25.5	85.8	5,751
10期 (2018年10月1日)	24,929	0	△ 0.2	92.5	6,483
11期 (2019年9月30日)	23,163	0	△ 7.1	87.9	6,704
12期 (2020年9月30日)	24,307	0	4.9	88.6	7,654

(注1) 基準価額(分配落)、税込分配金は1万円当たり、期中騰落率は前期末比で表示しています。

(注2) 期中騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰落率			
(期首)	円	%	%	百万円
2019年9月30日	23,163	—	87.9	6,704
10月末	24,032	3.8	87.9	6,998
11月末	24,461	5.6	87.8	7,154
12月末	25,323	9.3	87.8	7,450
2020年1月末	24,991	7.9	87.0	7,410
2月末	23,934	3.3	86.3	7,114
3月末	20,024	△13.6	89.0	6,037
4月末	21,073	△ 9.0	90.1	6,420
5月末	22,392	△ 3.3	90.8	6,923
6月末	22,896	△ 1.2	89.6	7,105
7月末	24,022	3.7	89.0	7,506
8月末	24,761	6.9	89.2	7,761
(期末)				
2020年9月30日	24,307	4.9	88.6	7,654

(注1) 基準価額は1万円当たり、騰落率は期首比で表示しています。

(注2) 騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

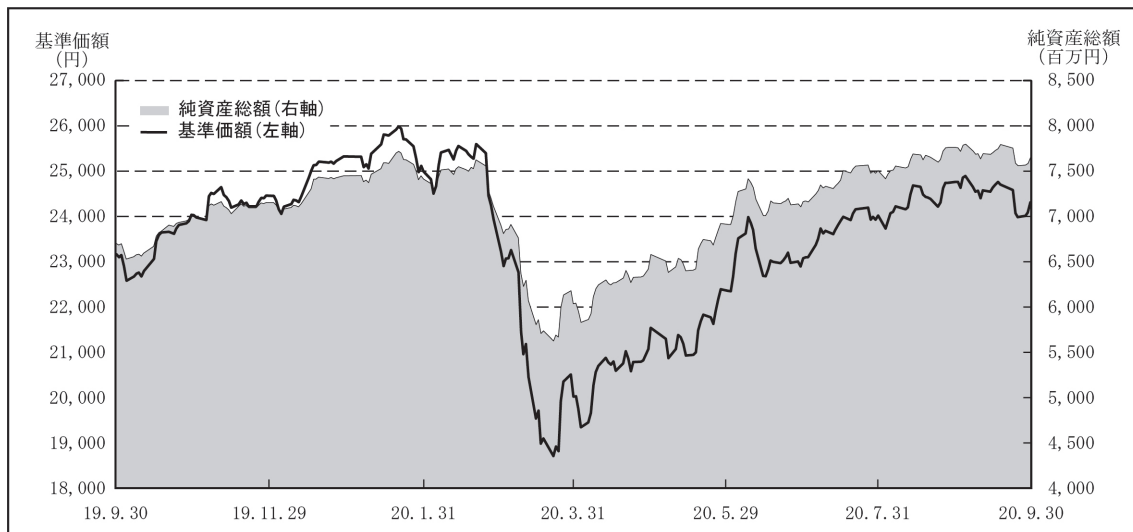
(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■ 設定以来の基準価額等の推移 (2008年10月20日～2020年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■ 当期中の基準価額等の推移 (2019年9月30日～2020年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■当期の基準価額の主な変動要因

当期の世界の株価は、期首から上昇基調となりましたが、2020年になると新型コロナウイルスの感染が拡大し、株価は2月後半から3月下旬にかけて急落しました。ただ、その後は各国の金融財政政策の発動を受けて回復基調となり、期末に若干調整したものの、期首との比較では総じて上昇して終わりました。為替市場では、ドルが軟調で円に対して若干値下がりした一方、ユーロは対円でも値上がりする堅調な推移となりました。新興国通貨は対ドル、対円ともに値下がりしました。以上から、円換算で見た世界の株価は上昇しました。

当期のユニオンファンドは期首に比べ4.9%値上がりしました。組入ファンド6本のうち5本が値上がりしたことが寄与しました。特にコムジェストEUFは16.2%と大きく値上がりしました。欧州株は円換算で若干下落しましたが、銘柄選択が奏功したものです。また、スパークスFも15.2%値上がりし、日本株の上昇率を上回りました。一方、ハリスFは3.5%の値下がりでした。その他のファンドにつきましては、ほぼ市場並みのパフォーマンスでした。

ユニオンファンドの組入状況に関連しましては、組入比率が最も高いコムジェストEMFの値上がりが3.0%にとどまったほか、組入第2位のハリスFが値下がりしたことがマイナス要因となりました。

(注) 当運用報告書(全体版)では、組入ファンドの名称を以下のとおり省略して記載することがあります。

- ・「さわかみファンド」：さわかみF
- ・「スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>」：スパークスF
- ・「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ」：キャピタルF
- ・「ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)」：ハリスF
- ・「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)」：コムジェストEUF
- ・「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95 (適格機関投資家限定)」：コムジェストEMF

■当期の投資環境

当期の株価は、2020年に入って世界的に広がった新型コロナウイルスの影響を大きく受け、特に3月には歴史的とも言える急落を演じましたが、その後はおおかたの予想を上回るピッチで回復するという、大きな波乱の展開となりました。

一方、為替市場では、ユーロが対ドルで大きく値上がりしましたが、株価の波乱に比べ全体として変動が小さく、特にドル円は3月を除けばごく緩やかな円高基調でした。

以下、株式市場、為替市場のそれぞれについて推移をご説明します。

【株式市場の動き】

期首の世界経済は、2018年以降の米中間の関税引き上げ合戦による貿易の低迷を受け、停滞気味でした。しかし、関税引き下げに向けた交渉への期待が広がったことに加え、景気減速を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が9月に開始した利下げをさらに進め、市場への資金供給を拡大するなど金融緩和姿勢を明確に示しました。これらが好感されて、世界の株価は上昇ピッチを速めました。

ただ、2020年に入ると、中国で発生した新型コロナウイルスによる感染症が世界各国に広がり始めたため、感染拡大の防止策として渡航制限や都市封鎖を始めとする社会経済活動の大幅な規制が実施されました。これが景気を一気に、かつ大幅に悪化させるところとなり、企業業績への悪影響も甚大なものとなりました。リスクを避けるため市場から資金を引き揚げる動きが加速した結果、通常ならこうした危機に際して買われることの多い国債や金までもが現金確保のために売り叩かれるなど、株式のみならず市場は全面的に大混乱に陥りました。株価の下落ピッチは極めて急速で、世界の多くの市場で約1ヵ月程度の間には株価下落率は3割程度にも達しました。

深刻な事態に対応し景気を下支えするために、3月から欧米を始め世界中で大規模な金融緩和が行われました。財政面でも、急増する失業者の救済などを目的に相当な額の景気対策が打たれることとなり、3月下旬に株価の下落は止まりました。

その後は、感染の起点となった中国だけでなく、多くの先進国で感染の拡大ピッチが鈍化したことから、株価は回復しました。こうしたなか、IT関連の巨大企業は、ウイルス感染を回避するための外出控えがかえって追い風ともなり、業績は拡大して株価も非常に強い状況が続きました。逆に、運輸、旅行、サービスなどの業種を中心に、景気に敏感な企業は株価が大きく下がり、その後の回復も限定的となるなど、業種による二極化が進みました。

市場別には、IT関連の巨大企業を多数擁する米国株は好調でしたが、欧州株はウイルス感染が拡大した当初に都市封鎖を強化した影響などから景気回復が緩やかなものにとどまり、株価は下落しました。新興国株は、世界経済の大幅な悪化と株式投資を手控える動きに影響されましたが、先行きの回復期待から株価は上昇しました。

【為替市場の動き】

当期の為替市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月に混乱したことを除けば穏やかに推移しました。

米国では長短金利が大きく低下し、低金利の長期化が予想されたことから、金利差の縮小を主因にドルは多くの主要通貨に対して下落しました。一方、ユーロは、財政による景気テコ入れ策が好感されたほか、前期末まで値下がりが続いていた反動もあって、対ドルで大きく値上がりし、対円でも上昇しました。新興国通貨は、世界の景気後退によるリスクを避けるため積極的な投資が進まなかったことから、対ドルでも若干値下がりする軟調な推移に終わりました。

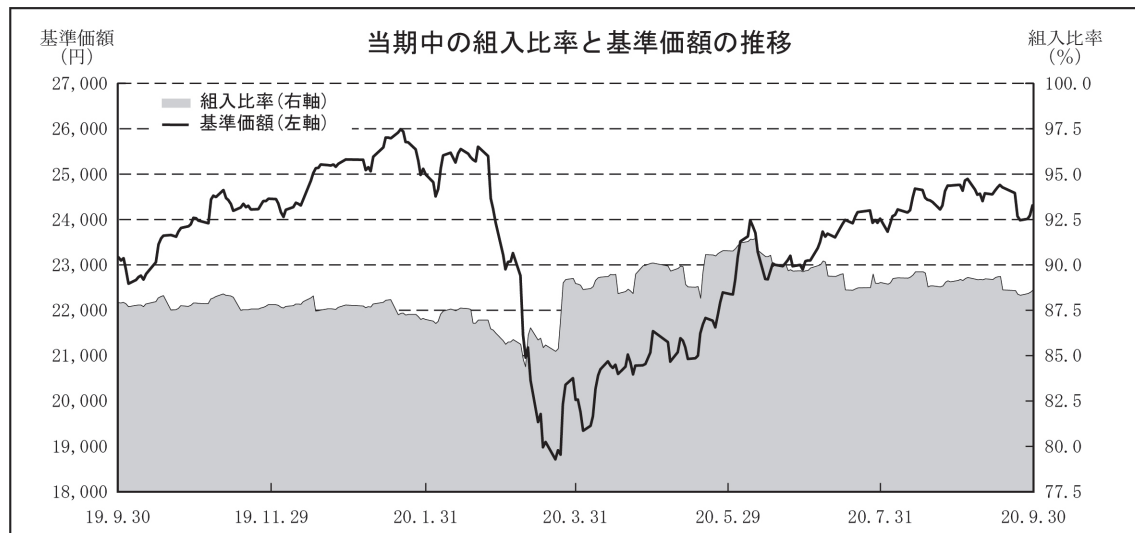
■当期の運用状況

当ファンドは、世界の株価の長期的な成長を通じて基準価額の上昇を目指しています。

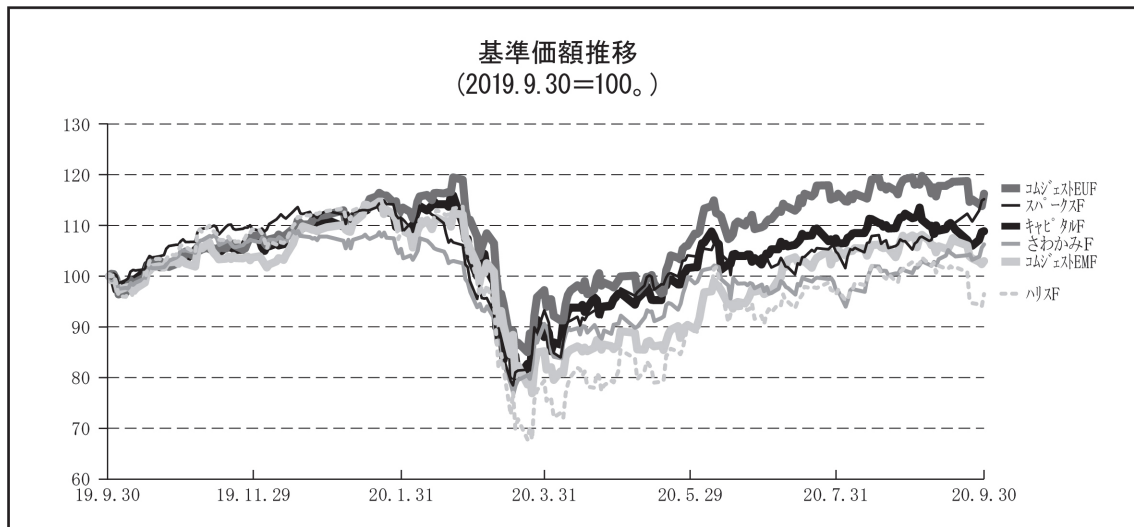
当期は、期首から金融緩和を受けて総じて株価は堅調に推移しましたが、景気や企業業績の先行きが芳しくなかったことから買い増しを見送りました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大で株価が急落したため、3月に約半年ぶりとなる買い増しを行い、その後も5月まで買い増しを続行しました。買い増しを行ったのはハリスF、キャピタルF、スパークスF、コムジェストEUFです。

一方、新興国株につきましては、中長期的な経済成長と企業業績の拡大にともなって株価も上昇していくとの考え方にに基づき、相対的に高めのウェイトで投資を継続してきました。ただ、世界経済の低成長が長引く可能性が高まり、新興国企業の業績も期待ほど高まらない状況が予想されたため、組入比率を若干引き下げることとし、5月から7月にかけてコムジェストEMFの部分売却を行いました。

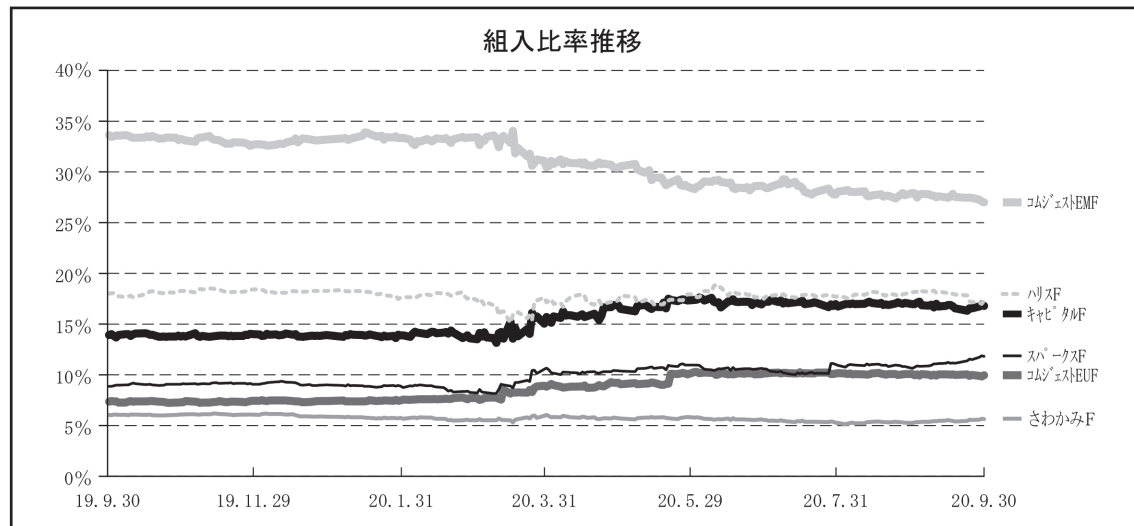
以上の結果、全体の組入比率は期首の87.9%に対し、3月には一時84.4%まで低下しましたが、買い増しと組入ファンドの値上がりにより6月には91.5%まで高まりました。その後は買い増しを見送り、期末は88.6%でした。期末のファンド別組入比率は、コムジェストEMF 27.0%、ハリスF 17.3%、キャピタルF 16.8%、スパークスF 11.8%、コムジェストEUF 10.0%、さわかみF 5.7%としています。



【参考情報】当期中の組入ファンドの状況



(注) ハリスFは分配金再投資基準価額で計算しています。



■ベンチマーク

当ファンドは、比較できる適切な指数が存在しないため、運用の目標とするベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

■分配金

基準価額の水準、投資環境、運用の安定等を考慮し、当期は分配を行わないこととしました。

なお、収益分配に充てなかった利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（2019年10月1日～2020年9月30日）

（1万口当たり、税込み）

項目		当期
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	14,493

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満切捨てで表示しています。そのため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しないことがあります。

■今後の運用方針

当面の注目点は、第1に新型コロナウイルスの感染状況、第2に米国大統領選挙のゆくえと新政権の経済政策だろうと思われれます。このほか、米中の対立については、関税交渉で歩み寄りが見えたものの、安全保障や人権問題などでは隔たりが大きく、今後もことあるごとに攪乱要因となりそうです。

長期の観点で最も重要なのは、やはり新型コロナウイルスで傷ついた世界経済がどのように修復していくかという点だと見ています。感染が広がった当初は悲観論一色でしたが、景気はその後概ね順調な回復過程をたどってきました。それが続くかどうかです。現時点では、コロナ感染に世界が徐々に慣れていくだろうと考えています。また、ここ1年間の金融緩和の効果は非常に大きく、景気と株価を下支えするものと予想しています。

当ファンドが組み入れているファンドは、経済成長率を上回る業績の拡大が期待できる企業や、株価が大幅に割安と見られる企業に投資しています。景気回復が今後一層明らかになるにつれて、より高い運用成果をあげる可能性が増していると考えており、投資環境には十分留意しつつ、前向きに投資を進めていく方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年10月1日～2020年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	207 (129) (70) (8)	0.880 (0.550) (0.297) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	3 (3)	0.013 (0.013)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 (各月末の残存受益権口数の単純平均) 金銭信託にかかる手数料等
合計	210	0.893	
期中の平均基準価額は、23,518円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

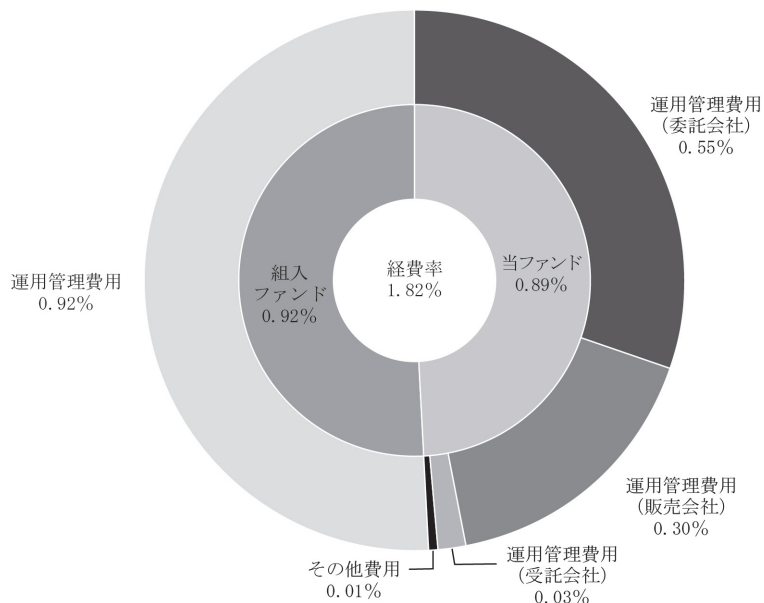
(注2) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入投資信託証券の運用内容」に表示しています。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額 (各月末の基準価額の単純平均) で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

【参考情報】経費率（組入ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.82%です。



経費率 (①+②)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②組入ファンドの運用管理費用の比率	0.92%

- (注1) ①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。また、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税ならびに当ファンドが組み入れている投資信託証券（組入ファンド）が支払った費用を含みません。
- (注2) ②の費用は、期中の各月末の各組入ファンドの組入比率に、当該組入ファンドの信託報酬率（信託報酬率が変動する場合はその上限の率）を乗じたものの単純平均です。
- (注3) 率および比率は、年率換算した値で、小数第3位四捨五入で表示しています。
- (注4) 当参考情報は、注1から注3までの前提条件をもとに算出したものであるため、あくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。また、組入ファンドには、運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、当参考情報には含まれていません。

■売買および取引の状況（2019年10月1日～2020年9月30日）

投資信託証券

銘柄		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数・口数 (千口)	金額 (千円)	単位数・口数 (千口)	金額 (千円)
国内	スパークス・集中投資・日本株ファンドS	44,830	180,000	—	—
	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90	156,450	160,000	—	—
	ALAMCO ハリス グローバルバリュー株ファンド 2007	144,013	120,000	—	—
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95	—	—	273,597	240,000
外国	キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ	70	230,000	—	—

（注1）金額は、受渡代金です。

（注2）単位未満切捨てで表示しています。

■利害関係人との取引状況等（2019年10月1日～2020年9月30日）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2019年10月1日～2020年9月30日）

当期における自己取引はありません。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2019年10月1日～2020年9月30日）

期首残高 (元本) (百万円)	当期設定 元本 (百万円)	当期解約 元本 (百万円)	期末残高 (元本) (百万円)	取引の理由
25	—	2	23	自社財産の運用を目的とした取得等

（注）単位未満切捨てで表示しています。

■組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建投資信託証券の明細

銘柄名	期首 (前期末)	当期末 (2020年9月30日現在)		
	単位数・口数 (千口)	単位数・口数 (千口)	評価額 (千円)	組入比率 (%)
株式ファンド (日本)				
コムジェスト・エマージングマー ケッツ・ファンド 95	2,482,191	2,208,594	2,067,465	27.0
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007	1,053,495	1,197,508	1,325,043	17.3
スパークス・集中投資・日本株フ ァンドS	139,959	184,789	906,040	11.8
コムジェスト・ヨーロッパ・ファ ンド 90	474,715	631,165	763,016	10.0
さわかみファンド	167,139	167,139	432,757	5.7
(ルクセンブルク)				
キャピタル・グループ・グローバル・ エクイティ・ファンド (LUX) クラスZ	264	334	1,287,670	16.8
合 計	4,317,764	4,389,531	6,781,992	88.6
銘柄数	6 銘柄		6 銘柄	

(注1) 単位数・口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

■投資信託財産の構成 (2020年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	5,494,322	71.5
投 資 証 券	1,287,670	16.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	907,315	11.8
投 資 信 託 財 産 総 額	7,689,307	100.0

(注1) 評価額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、コール・ローン等、その他の評価額および比率は、投資信託財産総額から他の項目の合計を差し引いたものです。

(注2) 当期末における外貨建資産はありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況
(2020年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,689,307,339円
コール・ローン等	907,315,048
投資信託受益証券(評価額)	5,494,322,207
投資証券(評価額)	1,287,670,084
(B) 負 債	35,035,160
未払解約金	3,688,101
未払信託報酬	31,267,220
その他未払費用	79,839
(C) 純資産総額(A-B)	7,654,272,179
元 本	3,148,971,687
次期繰越損益金	4,505,300,492
(D) 受益権総口数	3,148,971,687口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,307円

(注1) 期首元本額 2,894,279,489円
 期中追加設定元本額 471,675,106円
 期中一部解約元本額 216,982,908円
 (注2) 1口当たり純資産額 2,4307円

■損益の状況
(2019年10月1日～2020年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	47円
受 取 利 息	47
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	429,623,401
売 買 益	463,241,709
売 買 損	△33,618,308
(C) 信 託 報 酬 等	△63,213,769
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	366,409,679
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,037,776,460
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,101,114,353
(配 当 等 相 当 額)	(2,876,986,005)
(売 買 損 益 相 当 額)	(224,128,348)
(G) 合 計 (D + E + F)	4,505,300,492
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	4,505,300,492
追 加 信 託 差 損 益 金	3,101,114,353
(配 当 等 相 当 額)	(2,876,986,005)
(売 買 損 益 相 当 額)	(224,128,348)
分 配 準 備 積 立 金	1,463,001,443
繰 越 損 益 金	△58,815,304

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(47円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(3,101,114,353円)および分配準備積立金(1,463,001,396円)より分配対象額は4,564,115,796円(1万口当たり14,493円)です。分配は行っていません。

■お知らせ

該当事項はありません。

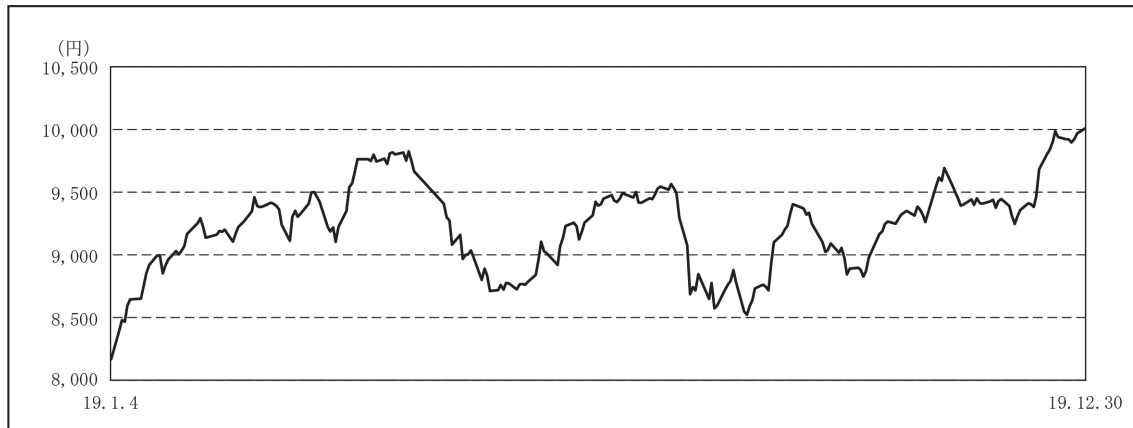
■組入投資信託証券の運用内容

当期末時点の組入投資信託証券（組入ファンド）について、当運用報告書（全体版）作成時点において入手可能な直近計算期間に関する情報を記載しています。

1 《コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95（適格機関投資家限定）》

決算日：2019年12月30日 計算期間：2019年1月5日～2019年12月30日

◎基準価額の推移（2019年1月4日～2019年12月30日）



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2019年 1 月 5 日～2019年12月30日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	95 (60) (30) (5)	1.031 (0.651) (0.325) (0.054)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	3 (3)	0.037 (0.037)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.036 (0.036)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	15 (13) (2) (0)	0.159 (0.136) (0.020) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等 (ADR手数料や税務代理人費用等)、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	116	1.263	
期中の平均基準価額は、9,218円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

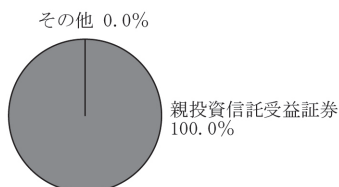
◎組入資産の明細

親投資信託残高

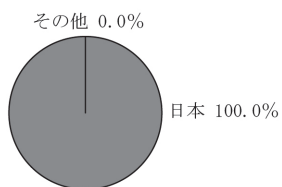
銘柄名	当期末 (2019年12月30日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	1,439,236	2,816,009

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

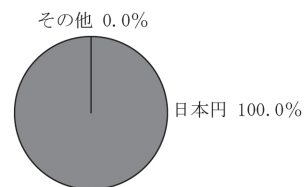
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2019年12月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,831,019,783円
コール・ローン等	15,010,248
ニッポンコムジェスト・エマーシング マーケット マザーファンド (評価額)	2,816,009,535
(B) 負 債	14,842,439
未払信託報酬	14,567,396
未払利息	43
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額 (A - B)	2,816,177,344
元 本	2,814,204,959
次期繰越損益金	1,972,385
(D) 受益権総口数	2,814,204,959口
1万口当たり基準価額 (C/D)	10,007円

(注1) 期首元本額 2,798,744,690円
 期中追加設定元本額 331,913,263円
 期中一部解約元本額 316,452,994円
 (注2) 1口当たり純資産額 1.0007円

◎損益の状況
(2019年1月5日～2019年12月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△5,618円
支 払 利 息	△5,618
(B) 有価証券売買損益	514,979,108
売 買 損 益	550,615,059
売 買 損	△35,635,951
(C) 信 託 報 酬 等	△28,281,031
(D) 当期損益金 (A+B+C)	486,692,459
(E) 前期繰越損益金	△353,589,235
(F) 追加信託差損益金	△131,130,839
(配 当 等 相 当 額)	(13,756,387)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△144,887,226)
(G) 計 (D + E + F)	1,972,385
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金 (G+H)	1,972,385
追加信託差損益金	△131,130,839
(配 当 等 相 当 額)	(14,559,364)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△145,690,203)
分 配 準 備 積 立 金	133,103,224

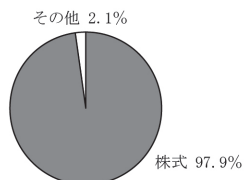
(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(53,774,532円)、費用控除後の有価証券等損益額(60,983,499円)、信託約款に規定する収益調整金(14,559,364円)および分配準備積立金(18,345,193円)より分配対象収益は147,662,588円(1万口当たり524円)ですが、当期に分配した金額はありません。
 (注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています、ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況 (2019年12月25日現在)

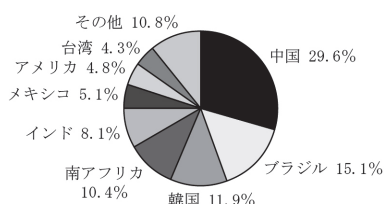
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	MSCI業種分類	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	香港ドル	6.8
2	株式	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	金融	ブラジル	ブラジルリアル	4.4
3	株式	NETEASE INC ADR	コミュニケーション・サービス	中国	米ドル	4.3
4	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	情報技術	韓国	韓国ウォン	4.3
5	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	米ドル	4.3
6	株式	SANLAM LTD	金融	南アフリカ	南アフリカランド	3.6
7	株式	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	アメリカ	米ドル	3.4
8	株式	AIA GROUP LTD	金融	香港	香港ドル	3.2
9	株式	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	生活必需品	中国	中国元	3.2
10	株式	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	生活必需品	メキシコ	メキシコペソ	3.2
組入銘柄数				42銘柄		

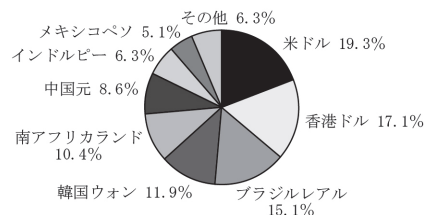
【資産別配分】



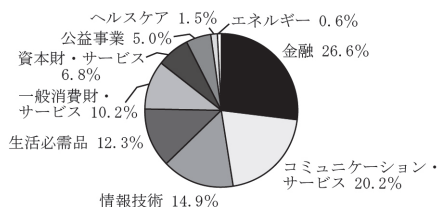
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



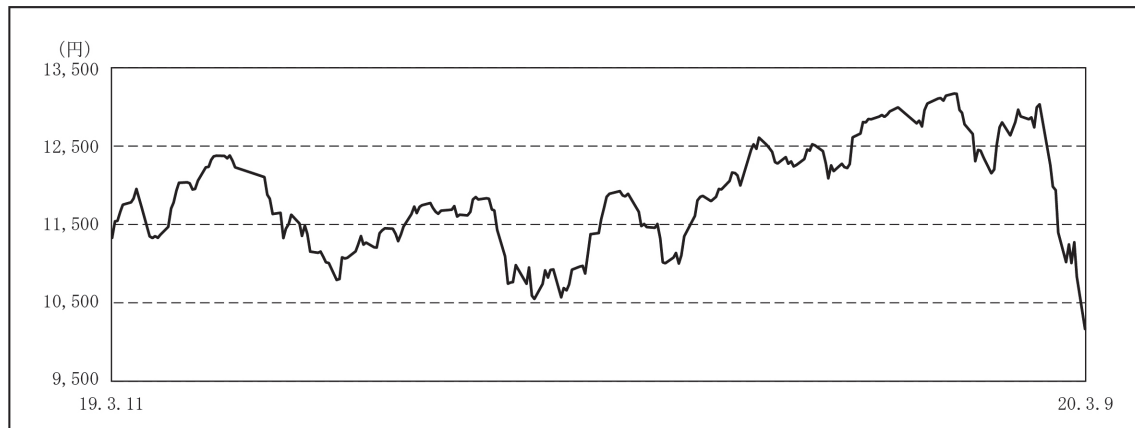
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

2 《ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007（適格機関投資家専用）》

決算日：2020年3月9日 計算期間：2019年3月12日～2020年3月9日

◎基準価額の推移（2019年3月11日～2020年3月9日）



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2019年 3 月 12 日～2020年 3 月 9 日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	168 (129) (28) (10)	1.422 (1.094) (0.241) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	3 (3)	0.024 (0.024)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.013 (0.013)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (7) (1) (0)	0.069 (0.061) (0.005) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	181	1.528	
期中の平均基準価額は、11,793円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

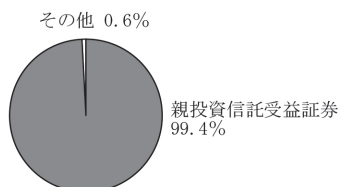
◎組入資産の明細

親投資信託残高

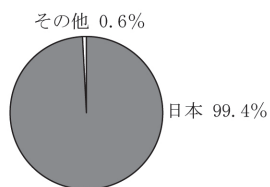
銘柄名	当期末 (2020年3月9日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド	2,546,289	4,359,502

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

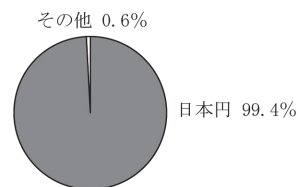
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,423,389,469円
コール・ローン等	63,887,218
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド(評価額)	4,359,502,251
(B) 負 債	37,308,371
未払信託報酬	37,165,488
その他未払費用	142,883
(C) 純資産総額(A-B)	4,386,081,098
元 本	4,314,462,904
次期繰越損益金	71,618,194
(D) 受益権総口数	4,314,462,904口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,166円

(注) 期首元本額 4,314,462,904円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 -円

◎損益の状況
(2019年3月12日～2020年3月9日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△29,059円
支 払 利 息	△29,059
(B) 有価証券売買損益	△429,748,522
売 買 損 益	6,940,128
売 買 損	△436,688,650
(C) 信 託 報 酬 等	△72,480,147
(D) 当期損益金(A+B+C)	△502,257,728
(E) 前期繰越損益金	△55,001,217
(F) 追加信託差損益金	628,877,139
(配当等相当額)	(1,429,513,539)
(売買損益相当額)	(△800,636,400)
(G) 計 (D + E + F)	71,618,194
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	71,618,194
追加信託差損益金	628,877,139
(配当等相当額)	(1,429,513,539)
(売買損益相当額)	(△800,636,400)
分配準備積立金	608,408,793
繰 越 損 益 金	△1,165,667,738

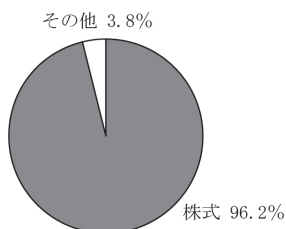
- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 信託財産の運用指図にかかる権限の一部を委託するために要した費用として、当組入ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対して年1万分の65の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,067,613円)、費用控除後の有価証券等損益額(-円)、信託約款に規定する収益調整金(1,429,513,539円)および分配準備積立金(591,341,180円)より分配対象収益は2,037,922,332円(1万口当たり4,723円)ですが、当期に分配した金額はありません。

◎ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド 組入状況 (2020年3月9日現在)

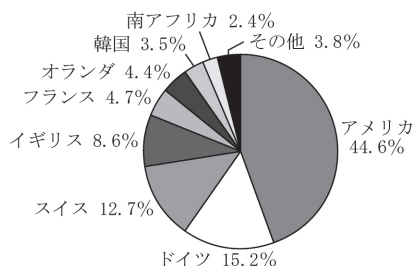
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	米ドル	4.8
2	株式	DAIMLER AG-REG	自動車・自動車部品	ドイツ	ユーロ	4.8
3	株式	BNP PARIBAS	銀行	フランス	ユーロ	4.7
4	株式	GLENCORE PLC	素材	イギリス	英ポンド	4.7
5	株式	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	オランダ	ユーロ	4.4
6	株式	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	各種金融	スイス	スイスフラン	4.4
7	株式	BAYER AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ドイツ	ユーロ	3.7
8	株式	REGENERON PHARMACEUTICALS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	米ドル	3.7
9	株式	ALLIANZ SE	保険	ドイツ	ユーロ	3.6
10	株式	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS	消費者サービス	アメリカ	米ドル	3.5
組入銘柄数				40銘柄		

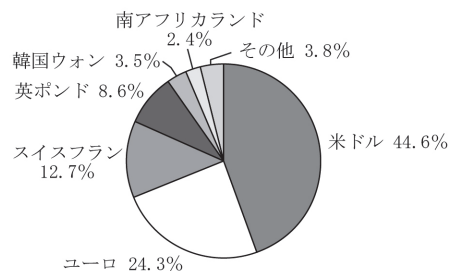
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



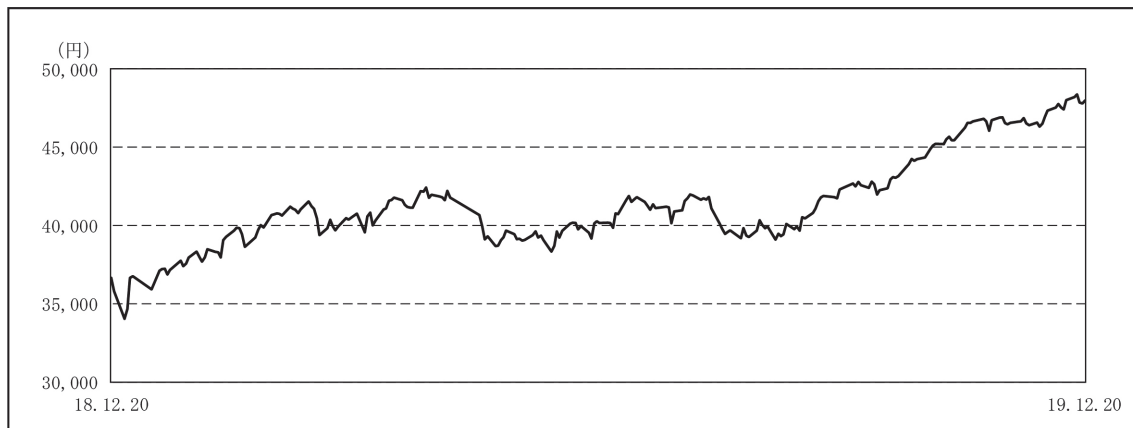
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

3 《スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉》

決算日：2019年12月20日 計算期間：2018年12月21日～2019年12月20日

◎基準価額の推移（2018年12月20日～2019年12月20日）



◎1万口当たりの費用明細（2018年12月21日～2019年12月20日）

項目	金額 (円)	比率 (%)
(a) 信託報酬	340	0.83
（委託会社）	(301)	(0.73)
（販売会社）	(23)	(0.06)
（受託会社）	(16)	(0.04)
(b) 売買委託手数料	25	0.06
(c) その他費用	2	0.01
合計	367	0.89
期中の平均基準価額は、41,205円です。		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、監査費用です。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位四捨五入で表示しています。

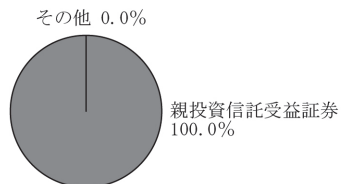
◎組入資産の明細

親投資信託残高

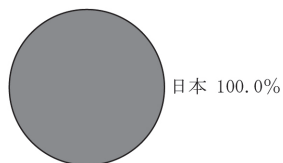
銘柄名	当期末 (2019年12月20日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
スパークス集中投資戦略マザーファンド	635,297	3,453,351

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

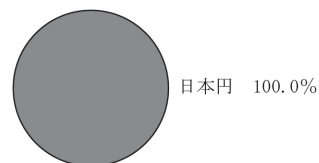
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

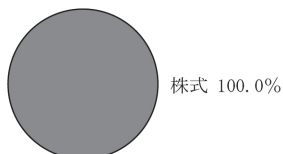
(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎スパークス集中投資戦略マザーファンド 組入状況 (2019年12月20日現在)

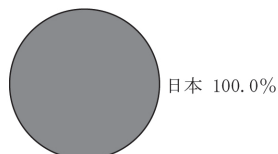
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	MARUWA	ガラス・土石製品	日本	日本円	8.5
2	株式	オルガノ	機械	日本	日本円	6.2
3	株式	トーセイ	不動産業	日本	日本円	5.9
4	株式	クミアイ化学工業	化学	日本	日本円	5.5
5	株式	TOTO	ガラス・土石製品	日本	日本円	4.6
6	株式	三浦工業	機械	日本	日本円	4.3
7	株式	エフピコ	化学	日本	日本円	4.0
8	株式	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	日本	日本円	3.9
9	株式	全国保証	その他金融業	日本	日本円	3.6
10	株式	ニチハ	ガラス・土石製品	日本	日本円	3.4
組入銘柄数				31銘柄		

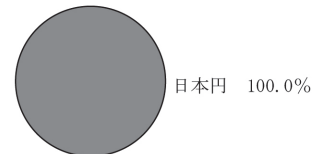
【資産別配分】



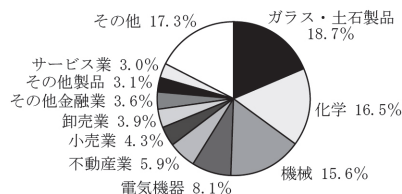
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 組入上位10銘柄および業種別配分の比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合です。

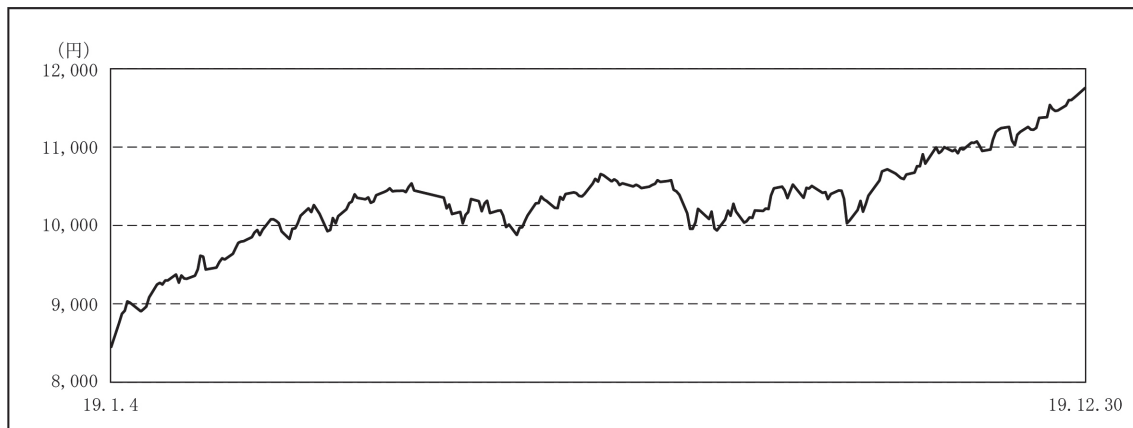
(注2) 資産別配分、国別配分および通貨別配分の比率は、当親投資信託の組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額の割合です。

(注3) コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）は、その他に含めて表示しています。

4 《コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90（適格機関投資家限定）》

決算日：2019年12月30日 計算期間：2019年1月5日～2019年12月30日

◎基準価額の推移（2019年1月4日～2019年12月30日）



◎ 1万口当たりの費用明細 (2019年1月5日～2019年12月30日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	101 (64) (31) (6)	0.976 (0.618) (0.304) (0.054)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.015 (0.015)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.012 (0.012)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	7 (4) (3) (0)	0.070 (0.041) (0.029) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	111	1.073	
期中の平均基準価額は、10,311円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

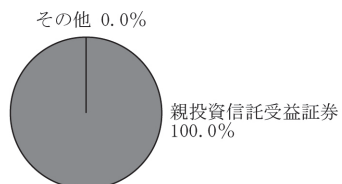
◎組入資産の明細

親投資信託残高

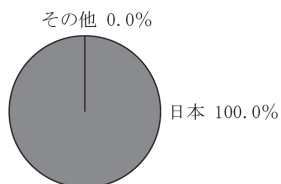
銘柄名	当期末 (2019年12月30日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザー ファンド	752,974	2,134,229

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

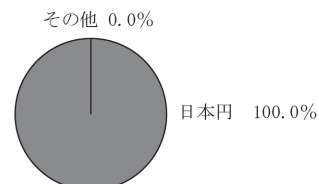
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2019年12月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,144,005,910円
コール・ローン等	9,776,107
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド(評価額)	2,134,229,803
(B) 負 債	9,675,573
未払信託報酬	9,400,545
未払利息	28
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,134,330,337
元 本	1,816,005,396
次期繰越損益金	318,324,941
(D) 受益権総口数	1,816,005,396口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,753円

(注1) 期首元本額 723,157,945円
 期中追加設定元本額 1,436,866,260円
 期中一部解約元本額 344,018,809円
 (注2) 1口当たり純資産額 1.1753円

◎損益の状況
(2019年1月5日～2019年12月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△2,464円
支 払 利 息	△2,464
(B) 有価証券売買損益	344,642,061
売 買 損 益	388,403,908
売 買 損	△43,761,847
(C) 信 託 報 酬 等	△12,663,323
(D) 当期損益金(A+B+C)	331,976,274
(E) 前期繰越損益金	△78,266,193
(F) 追加信託差損益金	64,614,860
(配 当 等 相 当 額)	(2,450,405)
(売 買 損 益 相 当 額)	(62,164,455)
(G) 計 (D + E + F)	318,324,941
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	318,324,941
追加信託差損益金	64,614,860
(配 当 等 相 当 額)	(3,320,942)
(売 買 損 益 相 当 額)	(61,293,918)
分 配 準 備 積 立 金	253,710,081

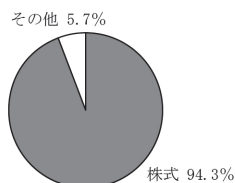
(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,703,726円)、費用控除後の有価証券等損益額(244,984,896円)、信託約款に規定する収益調整金(64,614,860円)および分配準備積立金(21,459円)より分配対象収益は318,324,941円(1万口当たり1,752円)ですが、当期に分配した金額はありません。
 (注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド 組入状況 (2019年12月25日現在)

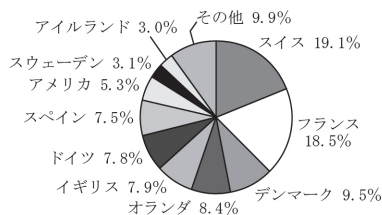
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	MSCI業種分類	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	スイス	スイスフラン	4.4
2	株式	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	デンマーククローネ	4.4
3	株式	ESSILORLUXOTTICA	一般消費財・サービス	フランス	ユーロ	4.4
4	株式	ASML HOLDING NV	情報技術	オランダ	ユーロ	4.3
5	株式	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア	スイス	スイスフラン	4.1
6	株式	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	ユーロ	4.0
7	株式	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	スペイン	ユーロ	3.5
8	株式	HEINEKEN NV	生活必需品	オランダ	ユーロ	3.4
9	株式	SAP SE	情報技術	ドイツ	ユーロ	3.4
10	株式	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	ユーロ	3.3
組入銘柄数				42銘柄		

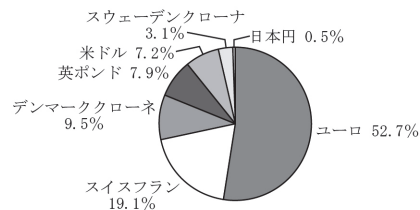
【資産別配分】



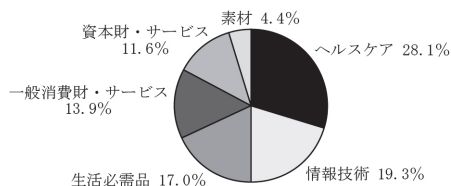
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

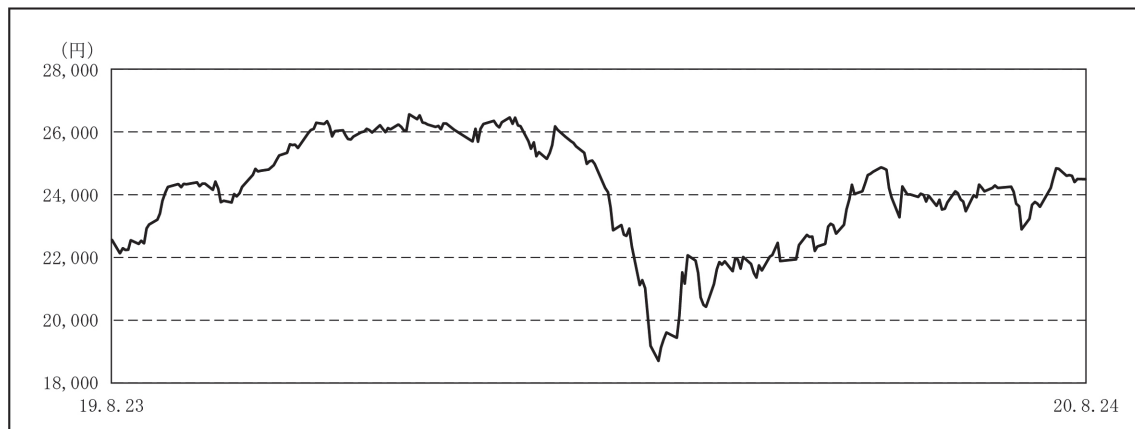
(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

(注3) 国別配分のその他は、ユーロ建ての現金、その他の資産等を含めて表示しています。

5 《さわかみファンド》

決算日：2020年8月24日 計算期間：2019年8月24日～2020年8月24日

◎基準価額の推移（2019年8月23日～2020年8月24日）



◎1万口当たりの費用明細（2019年8月24日～2020年8月24日）

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社)	265 (146)	1.101 (0.605)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(93)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(26)	(0.110)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
合計	266	1.105	
期中の平均基準価額は、24,068円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

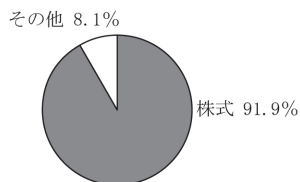
(注3) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

◎組入資産の明細 (2020年8月24日現在)

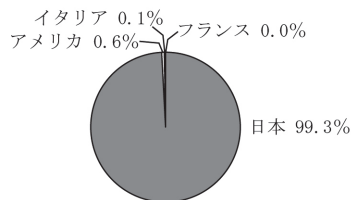
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	日本電産	電気機器	日本	日本円	6.2
2	株式	ダイキン工業	機械	日本	日本円	5.5
3	株式	テルモ	精密機器	日本	日本円	4.4
4	株式	花王	化学	日本	日本円	4.2
5	株式	浜松ホトニクス	電気機器	日本	日本円	3.8
6	株式	信越化学工業	化学	日本	日本円	3.8
7	株式	ブリヂストン	ゴム製品	日本	日本円	3.4
8	株式	TOTO	ガラス・土石製品	日本	日本円	3.2
9	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	日本	日本円	2.8
10	株式	三浦工業	機械	日本	日本円	2.3
				組入銘柄数		106銘柄

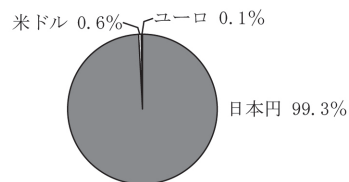
【資産別配分】



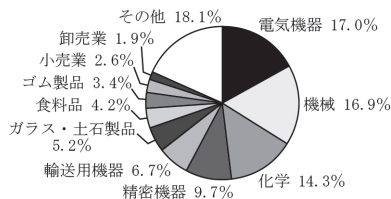
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分および業種別配分の比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、業種別配分のその他の比率は、全体から組入上位10業種の各比率の合計を差し引いたものです。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、当組入ファンドの組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額の割合です。

(注3) 外国株式の業種は、当組入ファンドの委託会社の基準により、東証33業種に振り替えて表示しています。

(注4) 資産別配分のその他は、現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注5) 業種別配分のその他は、組入上位10業種以外の業種および現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2020年8月24日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	289,138,605,298円
コール・ローン等	23,885,147,069
株式(評価額)	264,725,850,476
未 収 入 金	6,914,467
未 収 配 当 金	520,693,286
(B) 負 債	989,812,142
未 払 金	1,989,472
未 払 解 約 金	212,485,804
未 払 信 託 報 酬	775,336,866
(C) 純資産総額(A-B)	288,148,793,156
元 本	117,631,380,202
次期繰越損益金	170,517,412,954
(D) 受益権総口数	117,631,380,202口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,496円

(注1) 期首元本額	121,790,314,012円
期中追加設定元本額	6,683,161,132円
期中一部解約元本額	10,842,094,942円
(注2) 1口当たり純資産額	2,4496円

◎損益の状況
(2019年8月24日～2020年8月24日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,465,011,406円
受 取 配 当 金	5,476,719,961
受 取 利 息	7,981,927
支 払 利 息	△21,481,379
そ の 他 収 益 金	1,790,897
(B) 有価証券売買損益	19,893,060,024
売 買 益	36,942,216,505
売 買 損	△17,049,156,481
(C) 信 託 報 酬 等	△3,160,966,625
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,197,104,805
(E) 前期繰越損益金	74,800,663,789
(F) 追加信託差損益金	73,519,644,360
(配当等相当額)	(102,675,184,328)
(売買損益相当額)	(△29,155,539,968)
(G) 合 計 (D + E + F)	170,517,412,954
(H) 収 益 分 配 金	—
次期繰越損益金(G+H)	170,517,412,954
追加信託差損益金	73,519,644,360
(配当等相当額)	(102,675,184,328)
(売買損益相当額)	(△29,155,539,968)
分配準備積立金	112,047,710,861
繰 越 損 益 金	△15,049,942,267

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

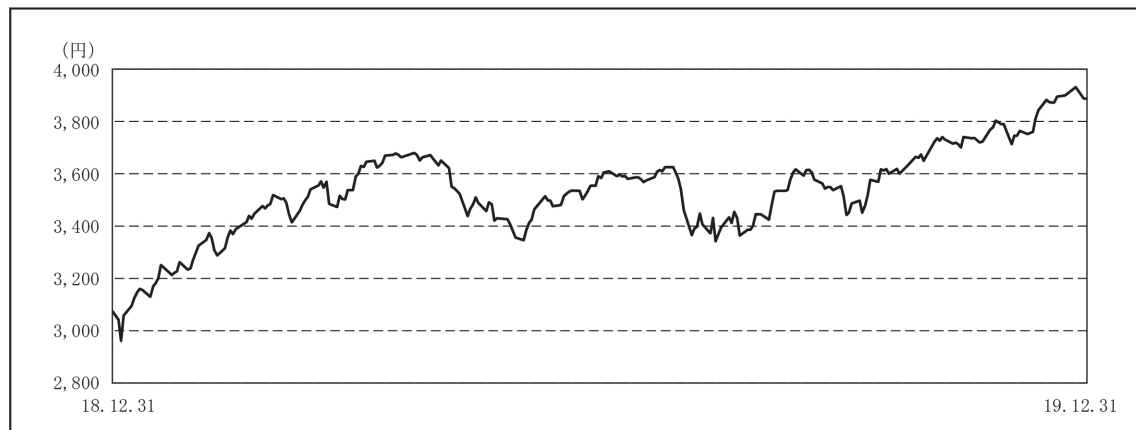
(注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(4,783,823,098円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(102,675,184,328円)および分配準備積立金(107,263,887,763円)より分配対象額は214,722,895,189円(1万口当たり18,253円)です。分配は行っていません。

6 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ》

決算日：2019年12月31日 計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日

※当組入ファンドにかかる各内容（基準価額の推移を除く）は、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）全体のものです。

◎基準価額の推移（2018年12月31日～2019年12月31日）

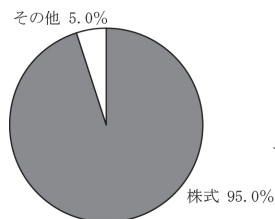


◎組入資産の明細（2019年12月31日現在）

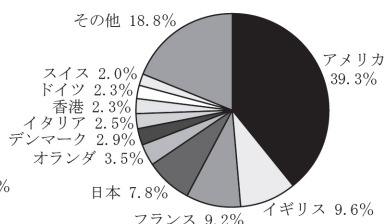
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	Enel SpA	公益事業	イタリア	ユーロ	2.1
2	株式	ASML Holding NV	情報技術	オランダ	ユーロ、米ドル	1.9
3	株式	Alphabet, Inc.	コミュニケーション・サービス	アメリカ	米ドル	1.9
4	株式	Ocado Group plc	一般消費財・サービス	イギリス	英ポンド	1.7
5	株式	Microsoft Corp.	情報技術	アメリカ	米ドル	1.7
6	株式	Airbus SE	資本財・サービス	フランス	ユーロ	1.6
7	株式	AIA Group Ltd.	金融	香港	香港ドル	1.5
8	株式	Pernod Ricard SA	生活必需品	フランス	ユーロ	1.5
9	株式	Visa, Inc.	情報技術	アメリカ	米ドル	1.5
10	株式	Seattle Genetics, Inc.	ヘルスケア	アメリカ	米ドル	1.4
				組入銘柄数		190銘柄

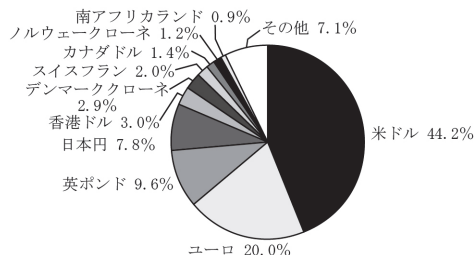
【資産別配分】



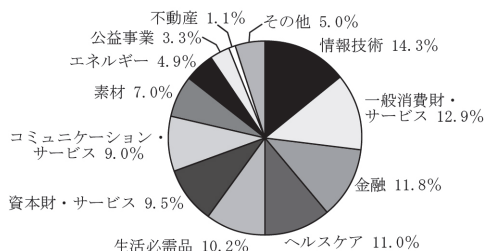
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、純資産総額に対する各評価額の割合です。

(注2) 同一会社の株式は、それぞれまとめて1銘柄として組入比率および組入銘柄数を表示しています。

(注3) 現金、その他の資産等は、その他に含めて表示しています。

◎資産、負債および純資産の状況 (2019年12月31日現在)

(ユーロ)

Assets	
Investments at market value	538,631,682
Cash at bank and broker	25,851,391
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	1,003,192
Receivable for fund shares subscribed	1,644,258
Receivable for investments sold	93,763
Prepaid expenses and other receivables	324,792
Total assets	567,549,078
Liabilities	
Payable for fund shares redeemed	84,493
Management fee payable	112,047
Accrued expenses and other payables	386,391
Total liabilities	582,931
Total net assets	566,966,147
Investment securities at cost	395,629,976

◎損益の状況 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(ユーロ)

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	8,841,432
	8,841,432
Expenses	
Management fees	1,179,330
Administrative Manager services	428,092
Professional services	169,031
Taxe d'abonnement	104,422
Depository and custody	103,109
Printing and publishing	43,756
Other	25,715
Overdraft interest	110,695
	2,164,150
Reimbursement of expenses	106,058
Net investment income/(loss) for the year (a)	6,783,340
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	25,946,916
Foreign currency transactions	31,706
Net realised profit/(loss) for the year (b)	25,978,622
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	104,403,438
Foreign currency transactions	10
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)	104,403,448
Result of operations for the year (a+b+c)	137,165,410
Dividend distribution	(142,154)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	(86,145,853)
Total net assets at the beginning of the year	516,088,744
Total net assets at the end of the year	566,966,147

■直接販売の状況

当期は新型コロナウイルスの感染拡大によりセミナー等の活動が満足に行えなかった時期がありましたが、新規口座開設数は162件（前期比△35件）、口座閉鎖数は68件（前期比+26件）となり、当期末（2020年9月30日）の全口座数は3,569件と前期末比で94件の純増（+2.7%）となりました。当期中に閉鎖された口座の割合は1.9%（前期比+0.7ポイント）にとどまっております、閉鎖されずに継続している割合（継続率）を見ますと、ファンド設定から当期末までに開設いただいた全ての口座で89.6%、このうち第1期（～2009年9月30日）に開設いただいた口座でも86.4%に達しており、長期でのご利用が多数を占める状況が続いています（次ページのグラフ参照）。

また、「定期定額購入サービス」のご利用は全体の74.2%にあたる2,649件（前期末比+20件）と引き続き高い水準を保っています。

このように長期で定期定額購入サービスを利用される比率が極めて高いことが、弊社の特徴であり、強みでもあります。

今期のユニオンファンドの基準価額は、新型コロナウイルス感染の影響を受けて乱高下しました。しかし、このような状況においても定期定額による購入額は安定的に推移し、月平均で7,012万円（前期比+5.6%）と前期を上回りました。この堅調な資金に加え、セミナー等でお伝えしている「下がったら安くたくさん買える」を实践される多くのお客様により、基準価額が最も下がっていた3～5月に合計1.3億円を超えるスポット購入が入り、当期の資金流入（買付）額は10億8,631万円と前期を15.5%も上回りました。資金流出（解約）も、期初と期末の基準価額上昇時期に大口の解約が増えたことで5億1,021万円（前期比+89.3%）と大幅に増加しましたが、トータルでは5億7,610万円（前期比△14.1%）も流入が上回っています。月次ベースでみましても、全ての月で流入額が上回り、2014年1月以降81ヵ月連続で純流入が継続しています。

ユニオンファンドの純資産総額も基準価額の大きな上下動に伴い増減しましたが、年間を通してみれば継続的な資金純流入によって成長を続けており、基準価額がコロナショック前の水準まで戻り切らない段階で過去最高額を更新（9月4日に77.9億円）しています。当期末の純資産総額も前期末より9.5億円上回る76億5,427万円（+14.2%）となりました。

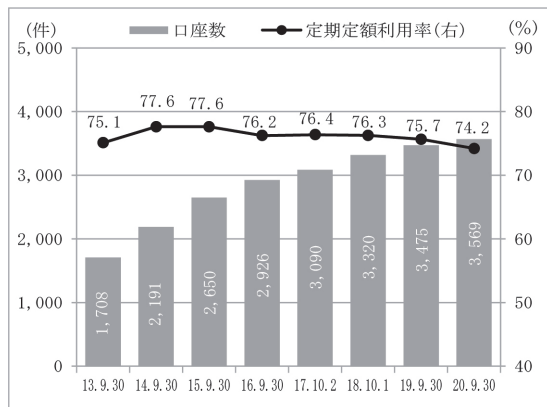
弊社は、働く仲間とその家族の方々の財産づくりのお手伝いをさせていただくべく設立された資産運用会社です。主にセミナーや個別相談等お客さまと直接接点を持ちながら、「生涯投資」・「グローバル投資」・「つみたて投資」の有効性や魅力、そして「これからの明るい未来のために自らの意志で自らのお金を世の中に活かすこと」の大切さをご説明しています。

この乱高下した1年でもしっかりと定期定額購入が継続され、下げ相場では多くのスポット購入がされていることを見るにつけ、ユニオンファンドが弊社の経営理念や運用哲学にご賛同いただいた多くの皆様により育てられていると実感しました。そして、その結果として皆様それぞれの自分らしい人生を過ごすための生涯資産づくりに活かされていくというWin-Winの関係を築くことができるのであれば、これほど幸せなことはありません。

これからも、ユニオンファンドは皆様の“生涯投資の道”の頼もしいパートナーであるべく、丁寧に丁寧に運用して参る所存です。

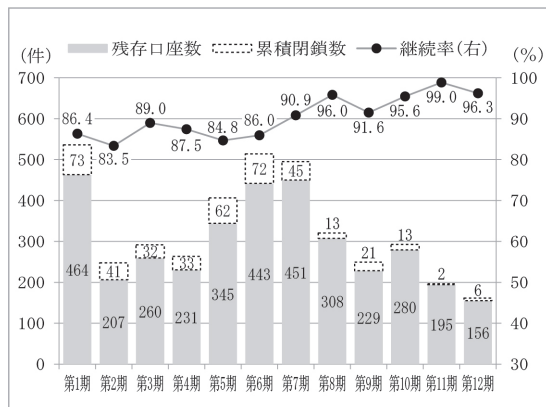
（注）各金額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。

各期末現在の残存口座数および定期定額購入利用率



(注) 利用率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

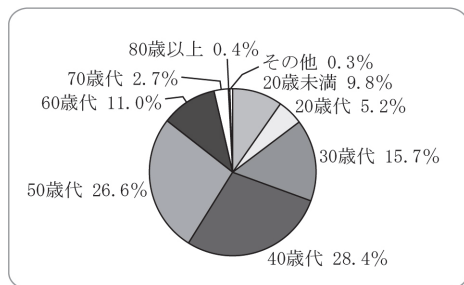
決算期別口座開設数および継続率 (2020年9月30日現在)



(注) 継続率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別口座比率

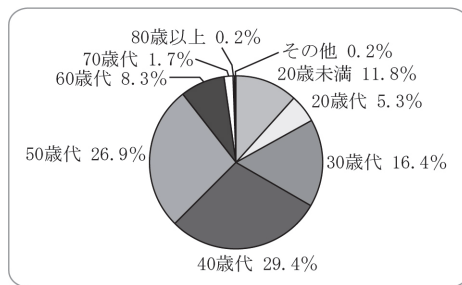
(2020年9月30日現在 総数3,569件)



(注) 比率は、全口座数に対する各年代の口座数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入利用者比率

(2020年9月30日現在 総数2,649件)



(注) 比率は、全利用者数に対する各年代の利用者数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入1回当たりの平均引落額 (2020年9月30日現在)

年代別引落額平均 (月次) (単位: 円)			
20歳未満	10,940	50歳代	32,360
20歳代	18,695	60歳代	31,341
30歳代	23,914	70歳代	27,371
40歳代	26,611	80歳以上	22,000

(注) 1回当たりの平均引落額は、次の式で算出し、円未満切捨てで表示しています。

(当該年代の毎月の契約金額の合計×12+当該年代の増額月の契約金額の合計) ÷ 12 ÷ 当該年代の利用者数